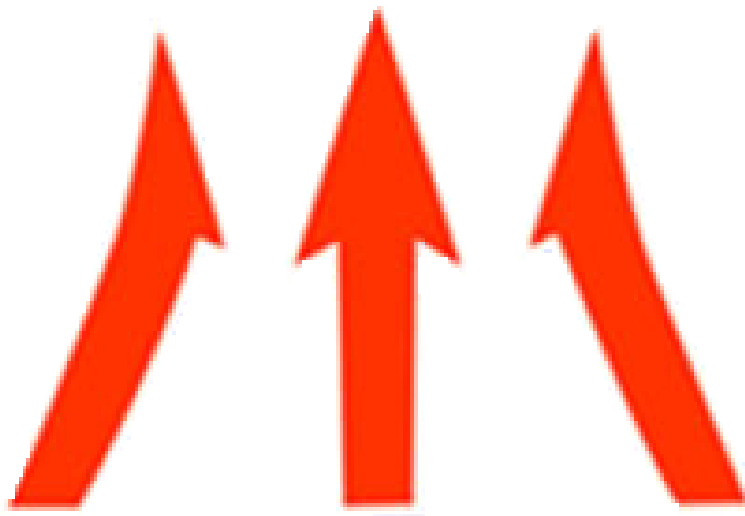


静岡県高等学校総合体育大会  
登山競技規則

令和4年度改訂版



静岡県高等学校体育連盟  
登山専門部

## 静岡県高校総体登山競技二次予選競技規則（R4改訂版）

### 1. 静岡県高等学校総合体育大会登山競技基準要項

- (1)主 催： 静岡県高等学校体育連盟  
静岡県教育委員会  
(一社)静岡県山岳・スポーツライミング連盟
- (2)後 援： (財)静岡県スポーツ協会
- (3)主 管： 静岡県高等学校体育連盟登山専門部
- (4)大会主催： ①大会は県内で、原則として中部・東部・西部地区の順序で開催するものとする。  
②大会会場およびコースは、前年度新人大会で内示し、当年度1次予選で決定するものとする。
- (5)大会期間： 原則として6月1日に近い土曜・日曜日の2日間とする。
- (6)競技方法： 男女種目別学校対抗とする。
- (7)参加資格： ①選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。ただし、静岡県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。  
②静岡県高等学校体育連盟に加入している高等学校生徒であること。ただし、静岡県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。  
③4月2日を起算として19歳未満の者であること。ただし、同一学年での参加は1回限りとする。  
④パーティーの編成は4名とし、内1名はリーダーとして登録する。またその編成において、全日制過程・定時制課程・通信制過程、本校と分校、男女それぞれの混成は認めない。  
⑤転校後6ヶ月未満の者は出場できない。ただし、一家転住等の理由によるやむを得ない場合は、静岡県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りでない。  
⑥男女ごとに1次予選に参加した学校のみ出場を認める。  
⑦出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在籍する学校長の承認を得た者とする。  
⑧選手は当該校の教師により引率されていること。なお、引率教師は大会終了まで引率の任に当たるが、大会期間中は許可された場合を除き選手と接触しないこと。  
\*引率教師の宿舎、食事は大会事務局で用意するが、寝袋・食器・補助食等は各自用意する。自炊は認めない。
- (8)参加申込： 当該学校長の責任において、所定の様式により、定められた期限までに申し込むものとする。
- (9)参加料： 参加料は徴収しない。ただし、輸送・宿泊等に必要な経費は実費を徴収する。
- (10)大会経費： 静岡県高等学校体育連盟よりの事業費(大会費)および補助金で賄う。
- (11)表彰： 男子は1位から6位のチームまで、女子は1位から4位のチームまで賞状を授与する。男女とも優勝チームには、持ち回りの優勝旗・優勝杯を授与し、男子の2位から5位までのチームと、女子の2位・3位のチームには持ち回りの入賞杯を授与する。なお、男女とも優勝チームには記念品(メダル)を授与する。
- (12)参加上の注意： 競技中の傷病などの応急処置は主催者側で行うが、その後は責任は負わない。

## 2. 大会および競技役員

### (1)大会役員

- a.大会 会 長：静岡県高等学校体育連盟会長
- b.大会 副 会 長：静岡県高等学校体育連盟副会長
- c.顧 問：静岡県山岳・スポーツクライミング連盟会長
- d.大会 委 員 長：静岡県高等学校体育連盟登山専門部長

### (2)競技役員

- a.競 技 委 員 長：静岡県高等学校体育連盟登山専門部委員長
- b.審 査 員 長：原則として東・中・西部委員長の持ち回りとし、任期は1年とする。
- c.審 査 副 員 長：原則として次年度開催地区の委員長とし、任期は1年とする。
- d.審 査 員：審査員長とは別に東部地区4名、中部地区4名、西部地区3名を選出し、任期は1年とする。各地区委員長が審査員に含まれる。各地区の定数の半数を超える人数は、審査員経験3期以上の者とする。
- e.運 営 委 員 長：原則として開催地区から選出する。任期は1年とする。
- f.運 営 委 員：東部地区4名、中部地区4名、西部地区4名を選出し、任期は1年とする。
- g.安全管理委員長：原則として開催地区から選出する。任期は1年とする。
- h.安全管理委員：審査員、運営委員以外の全引率教師がその任に当たる。

### (3)競技役員役割

- a.競 技 委 員 長：競技全般を総括する。
- b.審 査 員：競技を審査し、その集計・順位の設定を担当する。審査員長はその責任者となり、審査副員長は審査員長を補佐する。各地区委員長は筆記試験問題を作成する。
- c.運 営 委 員：競技を運営し、円滑・公正な審査が行われるようテスト監督、秤量、行動時刻の記入、通信連絡などを担当する。運営委員長はその責任者となる。
- d.安全管理委員：競技の安全を図り、特に山中行動の安全確保に努める。必要に応じて運営委員の役割を補佐する。安全管理委員長はその責任者となる。

### 3. 競技規定

- (1)選手は宿泊は幕営とし、場所は大会本部で指示する。天幕の形式は自由とする。
- (2)炊飯に使用するコンロは2台以内とし、ガソリン使用のものは禁止する。
- (3)登山計画書は本大会について1泊2日で立案する。ただし、食糧計画はこの時季の4泊5日を想定し、その第3日(夕食)より第4日(朝食・昼食)を記載し実施する。細目については次項(4)による。なお、登山計画書は表紙を貼付し、ゼッケン番号と校名を黒で明記し、当日1部を指示に従って提出する。
- (4)食糧計画については、前項(3)に引き続き次のように規定する。  
大会第1日目の夕食は必ず米食とし炊飯する。第2日目の朝食は前日の自由な時間帯に炊飯などしてもよい。なお、朝食抜きの行動は認めない。
- (5)重量の調整には砂袋または水を使用する。なお、本大会に不要な物、石などで重量調整することは禁止する。
- (6)ゼッケン番号は、白布に算用数字で大きく太く明記する。ザックのゼッケン番号の下に「高校」を除いた学校名を明記する。特に雨・汗などで字が流れないようにする。数字の色は黒とする。ザックカバーは直接色ビニールテープを貼付して表記してもよい。サブザック・サブザックカバーは表記しなくてもよい。
- (7)ゼッケンを明示する場所と大きさ
  - (ア)帽子前面
  - (イ)ザックの背面、大きさは縦16cm×横22cmとする。  
\* 雨具、ザックカバー着用の場合もゼッケンを明示する場所は同じとする。
  - (ウ)帽子、天幕場、炊飯場のゼッケンは大会事務局で用意する。
- (8)参加者は「健康保険証」または「そのコピー」を持参する。

### 4. 採点・評価および運営の大綱

- (1)採点・評価は、原則として開会式より2日目の審査終了地点までを対象とする。
- (2)採点対象の事象は、「時刻的に同一」のものを1件とし、「同内容」のもの重複が多い場合は単純加算せず考慮する。
- (3)採点項目に記載のない事象は、審査員の協議により、記載例に準じて処理する。ただし意見が分かれる場合は審査よりはらずし検討事項とする。
- (4)不可抗力的な事象があった場合は、競技委員長が協議のうえ決定する。
- (5)審査に対する異議は閉会式開式までに審査員長にリーダーが行うこと。審査員長は閉会式開式前に各チームへの審査資料の返却、**仮成績の配布を行い**、異議を受け付けるための十分な時間をとるものとする。

## 5. 審査項目別の採点細目

審査は最新の全国部報「全国高等学校登山大会〈審査基準と指導目標〉」および「全国高等学校登山大会審査確認事例」に基づいて行うが、「I 行動 (1)体力」については静岡県独自のルールで審査する。また、植生の審査を行う。その他全国大会と異なる部分については本競技規則中では青字で示す。得点・減点については、この採点細目で定める(これは静岡県独自の得点基準である)。

この細目は上記の全国部報〈審査基準と指導目標〉〈審査確認事例〉の改訂にともない改訂していく。

### I 行動

#### (1)体力 (40点)

1.審査基準：ザックの荷重と山中行動の所要時間およびチーム内の適度の間隔により評価する。

2.採点評価：

(ア)採点評価の対象は指定されたスタート地点からゴール地点までとする。

(イ)1日目、2日目に区分して採点する。

(ウ)チーム4人のザック総重量が常に下記枠内重量以上であること。下記重量以上を保持していれば、そのチームの得点を10点とし、荷重が規定に達しないチームの得点は、0.1kgごとに0.02点減点する。

男子 84.0kg、女子 68.0kg
---------------------

\* オープン参加のチームに対してはそのチームの平均重量×4として計算する。

\* 雨具を着用している場合は、その分を規定重量から引く。その値は審査員会で決定し、開会式終了後の審査員からの連絡までに選手に知らせることとする。

(エ)時間得点は次の式にしたがって、男女別に与える。所要時間の計測は秒単位までとする。

$$\frac{\text{トップチームの所要時間}}{\text{そのチームの所要時間}} \times 10 \text{ (小数点以下2桁まで、3桁目を四捨五入)}$$

(オ)(ウ)、(エ)で得られた得点をもとに次の要領によりその日の体力得点を計算する。ただし、その日の体力得点の最低点は0点とする。

(ウ)の荷重の点(X)と(エ)の所要時間の点(Y)の合計点から10.00点を引いた値を(Z)とし、(Z)の値を原則として1日目は1.5倍、2日目は2.5倍して基礎体力点とする(小数点以下1桁まで、2桁目を四捨五入)。チーム内のメンバーの間隔が3m以上開いた場合(瞬間的なものは除く)、この基礎体力点からその都度0.2点ずつ減点していき、体力得点とする(小数点以下1桁、2桁目を四捨五入する)。
--

\* (Z)の値を何倍にするかは、大会コースの状況によって審査員会で決定し、開会式終了後の審査員からの連絡までに選手に知らせることとする。

〈例〉ある男子チームの荷重が83.8kg、トップチームの所要時間が2時間22分30秒(=8550秒)、そのチームの所要時間が2時間29分10秒(=8950秒)である場合

(X)=9.96点、(Y)=9.553÷9.55なので(Z)=(X)+(Y)-10.00=9.51点。この日の基礎体力点が(Z)の2.5倍であると定められている場合9.51×2.5=23.77÷23.8点が基礎体力点となる。さらに、チーム内の間隔が3m以上開いていると審判員が1度認めた場合、このチームのこの日の体力得点は23.6点となる。

## 2. 歩行（10点）

減点項目	減点
1.転倒する	0.2
2.しりもちをつく	0.2
3.スリップする	0.1
4.バランスを崩し、手をつく	0.1
5.走る、飛び降りる	0.2
6.通過にもたつく	0.1
7.靴紐がほどけている	0.2
8.歩きながら地図を見る、記録を取る（常時所持）	0.1
9.首に紐などをぶら下げている（紐の処理、危険排除）	0.2
10.必要に応じた手袋の使用	0.1
11.落石させる	0.2
12.落石を知らせない	0.5
13.ストックの使用	0.5
14.ハイドレーションチューブの処理不十分	0.2

## 3. 装備（5点）

行動中に見るもの

減点項目	減点
1.パッキング不良	0.3
2.服装規定違反（長袖不所持、襟付きのシャツを着ていない、裾出し、下半身の肌の露出、登山靴）	各 0.3
3.帽子が風で飛ばない工夫をしていない	0.3
4.ウェストポーチの大きさ不適當	0.1
5.ゼッケン表示違反	0.3

個人装備

所持していない場合、各1人につき 0.3 減点する。所持していても（ ）を満たしていない場合には各 0.1 減点する。

1.雨具上下	12.磁石
2.防寒具（ウール、フリース、羽毛）（防水）	13.時計
3.寝袋（防水）	14.筆記具
4.着替え一式（防水）	15.マッチ、ライター両方（個々に防水）
5.水筒	16.行動食
6.真水 500mL（封が開いている場合は「水」と明記）	17.非常食 1000kcal（1つにパッキングし、非常食であることを明記）
7.食器類	18.ザック、ザックカバー
8.細引き太さ 4～6 mm、長さ 5m	19.サブザック、サブザックカバー（ゼッケン不要）
9.ヘッドランプ（予備電池、電球、防水）	20.ナイフ
10.計画書（防水）	21.呼笛
11.地形図（防水）	22.手袋（防水）

## 共同装備

所持していない場合、各 1.0 減点、( ) 内を満たしていない場合各 0.3 減点

1.テント一式	7.温度計
2.ツェルト	8.予備食 (メンバー 1 人につき 2 食以上) (予備食であることを明記)
3.炊事用具一式	9.裁縫用具
4.コンロ (複数台)	10.修理具 (ペンチまたはプライヤー、針 金 50cm 以上、針と糸、布ガムテープま たはリペアテープ)
5.燃料 (予備)	
6.ラジオ (絶縁) (防水) (予備電池)	11.救急装備 (防水)

## 救急装備

所持していない場合、所持量が足りない場合 (2 人 2 日分)、使用期限切れの場合 各 0.5 減点

1.消毒薬	5.体温計
2.虫刺され薬	6.三角巾 (二枚)
3.湿布薬	7.包帯
4.カットバン	8.テーピング (幅 35mm 以上、巻の厚さ 1cm 以上)

## 4. 設営・撤収 (5 点)

設営・撤収時

減点項目	減点
1.チームワーク・手際が悪い	0.2
2.ポールの地面への放置	0.1
3.テントの扱い (土足、踏むなど)	0.2
4.袋、物等が散乱	0.2
5.ペグ打ち時のペグを持つ手の手袋なし	0.1
6.ザックの散乱 (本体)	0.2
7.ザックの雨蓋の処理	0.2
8.予備ペグなし (2 本)	0.2
9.予備張り綱なし (1 本)	0.2
10.ポール補修金具なし	0.2
11.悪天への対応をしていない	0.2
12.設営時のエリア外への侵入 (悪質なものを)	0.5
13.監督からの指示	0.5
14.撤収時の原状回復がなされていない (整理、ゴミ、ペグ穴)	0.2

完成時

減点項目	減点
1.ペグ本数不足	各 0.2
2.ペグ打ち込み過ぎ	各 0.1

3.ペグ打ち込み強度不足	各 0.1
4.ペグの方向・位置が悪い	各 0.1
5.張り綱なし	各 0.2
6.張り綱が適切に処理されていない (テンションかけすぎも含む)	各 0.2
7.張り綱の地面への埋没	各 0.1
8.ザック、テント内への未収納・整理整頓が悪い	0.2
9.入り口ファスナーが開いた状態	0.5
10.ハンマー未収納 (手中、テント外など)	0.2
11.本体とフライの接合	各 0.2
12.グラウンドシートのはみ出し	0.2
13.テント、フライ、ポールの破損	各 0.5
14.フライ忘れ	3.0
15.テント本体・ポール忘れ	5.0
16.就寝時に装備・食料がテント内へ格納されていない 靴がフライからはみ出している	0.2

## 5. 炊事 (5点)

### 作業前

減点項目	減点
1.メニュー・調理の工夫がなされていない (レトルトやインスタント食品の単純な使用)	0.2
2.米飯でない	1.0
3.食料の消費期限切れ、保存方法が適切でない	0.2
4.計画書との不一致	1.0

### 作業中

減点項目	減点
1.コンロの不適切な使用 (風防の使用)	0.1
2.コンロ台の安定と輻射対策の不備	0.2
3.火気使用時の軍手の不使用	0.1
4.管理者不在	0.2
5.衛生シートがない	0.2
6.衛生シート上の土あがり放置	0.2
7.衛生シート周辺の整理整頓がなされていない	0.1
8.調理場所 (衛生シート上) とコンロ使用の場所が分かれていない	0.2
9.コンロの転倒	2.0
10.鍋等の転倒	2.0
11.器具の危険な取り扱い	1.0
12.ゴミの分別	0.2
13.規定時間 (50分) オーバー	1.0



6. 天気図（4点）

審査項目	配点（そのときの天気図によって配点を加減できる）
各地の天気（風向・風力・天気・気圧・気温） 船舶からの報告（位置、風向・風力・天気・気圧）	1.0 5地点を選び、それぞれの地点で誤りが1項目あれば0.1、2項目あれば0点とする
高気圧・低気圧（HまたはL、位置、気圧、進行方向、進行速度） 台風（T、位置、気圧、進行方向、進行速度、進路予想、予報円） 前線（前線の記号、位置）	1.5点 4～6個選び、それぞれに配点を0.2～0.4与え、配点0.2であれば1項目誤りがあれば0.1、2項目以上誤りがあれば0点とする。配点0.3であれば1項目誤りごとに0.1減点し、3項目以上で0となる。
放送等圧線 0.2～0.4 等圧線 0.5～0.7 ・等圧線の記入が適切か ・10hPaごとに太くして気圧が記入されているか ・等圧線の交わり、切れがないか ・高気圧や低気圧、前線の付近の等圧線が適切か ・等圧線がなめらかか ・等圧線に不都合がないか	1.0 項目を決め、誤りがあるごとに0.1減点（1つの等圧線の最低点は0点）
解析・予報	0.5

7. 課題テスト（12点）

テストとその内容	配点
共通課題テスト 1次予選までに配布される大会山域の特徴、大会要項の日程、主な地点の読み（1次予選までに配布される資料中に読みが記された地点）	1点×3名 = 3点
自然観察課題テスト 共通課題に加え、1次予選までに配布されるコース案内、大会地図、25000分の1地形図を活用する上での基礎知識、主な登山用語（登山部報掲載）	3点
救急知識課題テスト 共通課題に加え、統一学習資料登山の医学「予防とファーストエイド」	3点
気象知識課題テスト 共通課題に加え、統一学習資料「登山と気象知識」の「I 登山と気象」	3点

8. 計画書（2点）

審査項目	得点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバー表（氏名、生年月日、住所、保護者、電話）</li> <li>・緊急連絡先（留守本部、大会本部） 所属校責任者・休日・夜間連絡先</li> <li>・日程表 学校（家または駅）から学校（家または駅）まで書かれているか</li> <li>・荒天対策（要項、連絡事項にある場合）</li> <li>・概念図 主要地点名、ルートや尾根線、ルートとつながる他の登山道、おもな道路・河川、距離・方角</li> <li>・断面図 25000分の1地形図をもとに作成されているか 水平距離と高度の比が1：4～1：6 主要地点名</li> <li>・装備表（共同、個人分担表、重量）</li> <li>・食糧計画（献立、カロリー、分担、重量、予備食、行動食、非常食）</li> <li>・救急装備表 医薬品名、使用法、所持量</li> </ul>	審査項目を10項目選び1個につき0.2点を与える。
表紙にゼッケン番号・学校名を記載をしていない	0.2
メンバーの自作でない（ガイドブック等のコピーの使用） 男女出場校の共用	0.2 県大会では減点しない
審査項目順になっていない	0.2

9. 行動記録（2点）

審査項目	得点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要地点の到着・出発または通過時間 休憩した場合は主要地点でなくても記入</li> <li>・天気</li> <li>・コースの概況 コースの状況、見どころ、危険箇所、注意すべき点のうち特筆すべきこと</li> <li>・自然観察（植生を含む） 植生の全体像（落葉広葉樹林、草原、など）あるいは代表的な種（優占種や目立つもの）またその山・場所を特徴づける種 天候の急変や不測の事態</li> <li>・体調 通過地点での記入の必要はない</li> </ul>	審査項目を10項目選び1個につき0.2点を与える。
日時の経過に沿って記載されていない	0.2
事前記入	記録点を0点とする

10. 読図技術（9点）

18ポイント 正解は前後1mm以内 地図は1次予選で配布	0.5×18
------------------------------------	--------

11. マナー（5点）

減点項目	減点
1.消灯時間、起床時間を守らない	1.0
2.集合時間に遅刻する	1.0
3.指示違反（チームとして走る）	1.0
4.自然保護への配慮のない行動をした 草花木を摘む、折る。 ごみを落とす など	0.5
5.休憩時のマナーが悪い 休憩時に道をふさぐ、必要以上に場所をとる。 ザックをベンチの上に置く ザックに腰掛ける など	0.5
6.読図ポイントで、他チームの邪魔になる。 読図ポイントの近くで休憩する	0.5
7.その他の迷惑行為 林道で横に広がる 言い争い（役員、審査員への反抗） 物を投げる ゴミ処理の不良 リーダーの指示不適 など	0.5

12. 植生（1点）

コース案内に載せてある植物 20 種（アンダーラインを入れる）から 5 種を選び、コース中の実物を出題し、用紙に植物名を記入	0.2×5
--	-------

13. その他

減点項目	減点
課題テストにおける不正行為	当該テスト 0 点
審査に関する携帯電話の使用	当該審査 0 点
GPS 機能を有する機器の所持	読図、記録は 0 点
メンバー以外からの装備、食糧の補給、自販機の使用 （2日目のゴールまで）	全得点を参考点とし 順位をつけない